

# なのはなだより

NANOHANA DAYORI

No. **69**  
October 2012

## NANOHANA DAYORI



栗の郷「敬老会〜フラダンス」

### INDEX

1  
2

トレンドTOPIX 潮流  
トクナシカウ  
〈ニュースウォッチ〉

厚生労働省は9月5日に、  
「認知症施策推進5カ年計画  
(オレンジプラン)」を公表

フォーカス「老健ちば」  
〈事務長会報告〉



3  
4

〈特集 こうほうレポート〉  
在宅復帰強化型施設「フェルマータ船橋」  
充実した日々と家庭復帰をめざして！  
いつまでも自分らしく生活したい…  
一人一人の思いをリハビリテーションから実現したい！

5  
6

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「入所者様との二泊旅行」

介護老人保健施設

はつらつリハビリセンター

佐々木 和博(介護課 副主任)

鎌田實講演会のお知らせ



7

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●すこやかリハビリケアセンター

●サンシルバ市川

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

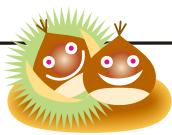
平成24年10月15日 発行

●発行者/千葉県老人保健施設協議会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

# 認知症対策で5カ年計画

## ～オレンジプラン～



# 潮流

トレンド  
TOPIX  
ちょうりゅう

ニュースウォッチ

厚生労働省は9月5日に、

「認知症施策推進5カ年計画（オレンジプラン）」を公表

**今** 年6月に医療・介護・福祉部局

横断でまとめたプロジェクトチームの報告をもとに5年間の工程表と目標値を盛り込んだもの。介護分野では、市町村や地域包括支援センターが主催する「地域ケア会議」を2015年度以降全市町村で実施することを盛り込んだ。しかし、認知症対策にどう活用するかについてのマニュアルは今年度の作成。目玉となる施策の多くが、「今年度以降の検討」で具体的な内容はよく見えない状況。

「オレンジプラン」のネーミングは認知症サポーターが身に付けているオレンジリングからつけたという。初年度にあたる来年度の概算要求では37億円分を盛り込んでいる。

今年6月に公表されていた「今後の認知症施策の方向性について」は、老健局、社会援護局、医政局などが部局横断的にまとめたもの。医療・介護で縦割りだった認知症対策を一つの方向性ですりあわせた点は画期的だが、具体的な内容や現場への影響についてはプランでもまだ見えてこない。目玉施策の多くが、その内容について今後の検討とされているのが理由の一つだ。

在宅介護の目玉としては、専門家が家庭訪問を行い、アセスメント、家族支援を行う「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに設置することが打ち出されていた。これについて「オレンジプラン」は、来年度10カ所、その次年度に20カ所とモデル事業を実施し、その後の、制度化を検討するとした。

早期対策の一つとして、地域ケア会議の全市町村での実施も打ち出された。医療・介護等の連携の要の位置付けだ。有名なものは、軽度者のケース検討を重点的に行うことで成果をあげている埼玉県和光市のケースだが、自治体により、多様なかたちで取り組まれているのが現状だ。厚生労働省によると、多職種による個別ケースの検討を強化していく方向で、今年度「地域ケア会議運営マニュアル」を策定する予定だ。

認知症高齢者は2017年度に現在より68万人増え、373万人になると推計。介護基盤整備では増加分の37万人が在宅と推計。その他の受け皿となるのが、介護保険施設16万人分増、居住系16万人分増と見積もった。医療機関の入院は38万人で維持し、増やさないとしている。

### オレンジプランの主な目標

認知症ケアバスの作成・普及	12～13年度調査研究、15年度以降、介護保険事業計画に反映
認知症初期集中支援チームの設置	モデル事業13年度10カ所、14年度20カ所
早期診断を担う医療機関	2次医療圏に1カ所。現在173カ所→2017年度末約500カ所。身型型は検証
地域ケア会議の普及・定着	12年度運営マニュアルの策定。15年度以降全市町村で実施
退院支援・地域連携クリティカルバスの作成	12年度作成。15年度以降介護保険事業計画に反映
本人や家族に対する支援	12年度調査・研究。13年度以降「認知症カフェ」など
認知症ライフサポートモデルの策定	12年度調査・研究。13年度以降従事者向けの多職種協働研修等で活用
認知症介護実践リーダー研修の受講者数	2012年度見込み2万6千人→2017年度末4万人。 介護保健施設、GHは1名ずつ受講。加えて、在宅系は中学校区で1名受講
認知症介護指導者養成研修の受講者数	2012年度見込み1600人→2017年度末2200人。5つの中学校区当たり1名

「シルバー新報9/7記事より一部抜粋」







## 在宅復帰強化型施設「フェルマータ船橋」

# 充実した日々と

# 家庭復帰をめざして！

いつまでも自分らしく生活したい…

一人一人の思いをリハビリテーションから実現したい！

広報委員会は、9月3日(月)に船橋市にある「フェルマータ船橋」を訪問しました。

フェルマータ船橋は、前回なのはなだよりに掲載しましたアンケートにおいて在宅復帰強化型施設の回答をいただいた施設です。当日は、塩原貴子事務長に施設内をご案内いただき、在宅復帰の取り組みについてのお話を伺いました。

### ★施設の現状について★

フェルマータ船橋は船橋整形外科グループを同一法人に持つ、入所97床(うち認知症専門棟40床)、通所35名の施設です。「フェルマータ」と言う名称は音楽記号の「ほどよい長さ」と言う意味やイタリア語で「停留所」と言う意味があるそうです。利用者の方それぞれにとって「ほどよい長さ」の支援を目指し、安らぎの「停留所」でありたいという願いも込めています。

施設は平成10年に開設され、開設当初からショートステイの利用を多く受け入れており、現在は約60床がショートステイ、約37床が在宅復帰へ向けての入所のベッドとなっているそうです。

今回、在宅復帰で注目させていただ

た入所ですが、入所前の状況として在宅をはじめ、協力病院や市内近隣の病院等から受け入れをされており、入所期間を個別に設定し積極的なリハビリを取り入れ、法人の理念・使命のもと、長期化せず在宅復帰につなげているとのことでした。中には入所が長期化してしまう方も多少いるそうですが、在宅復帰に向けて試験的の外泊等を行っているそうです。

利用者さんの状態に関しては急性期の疾患の方も多く、一般棟においては施設内で脳卒中系の方、整形疾患系の方、比較的自立度の高い方と3つのグループに分けて、職員も担当制とする対応をされておりました。

ショートステイにおいては、60床の



▲リハビリ風景



▲リハビリ風景



## 在宅復帰の状況 (平成24年4月～8月まで)

### ■入所前の生活状況 (1ヶ月間の述べ人数)

	男性	女性
自宅(家庭)から	4	5
協力医療機関から	2	2
他の医療機関から	1	2
介護老人保健施設から	0	1
特別養護老人ホームから	0	0
介護療養型医療施設から	0	0
その他(GH、有老ホーム、ケアハウス等)から	0	0
合計	7	10

### ■退所後の生活状況 (4月～8月の述べ人数)

	男性	女性
自宅(家庭)へ	14	37
協力医療機関(入院)へ	2	2
他の医療機関(入院)へ	2	2
介護老人保健施設へ	4	5
その他(GH、有老ホーム、ケアハウス等)へ	3	2
介護療養型医療施設へ	0	0
特別養護老人ホームへ	2	2
死亡	0	0
合計	27	50

### ■実績数

在宅復帰率	88%
ベッド稼働率	95%
平均在所日数	74.6日
ベッド回転率	40.7%
平均介護度	3.3度
総退所者数	23年度 96名

### ■23年度の述べ人数

認知症の診断がある方の在宅復帰者数	23名
独居の方の在宅復帰者数	約8人
退所後、デイケア・ショートステイの利用につなげたケースの数	約90%

★リハビリテーションについて★  
フェルマータ船橋では、利用者さんの個人の状態に合わせた援助目標を設定して、運動療法(理学療法・作業療法)や言語聴覚、物理療法を9名の専門スタッフが中心となりリハビリを行っています。

★在宅復帰の取り組みについて★  
開設当初より、入所と



▲療養室

施設で働くスタッフの皆さんも施設内外の研修等を積極的に行いスキルアップの向上に励んでおり、常に利用者さんとのコミュニケーションを大切にしています。フェルマータ船橋の皆様、お忙しい中のご案内いただきありがとうございます。

ベッドを日々4名の支援相談員が中心に受け入れをされており、1日に12～13名の利用者さんが入退所を行っておいりました。お話を伺うと苦労されている面も多く、送迎の手配やフロアでの受け入れ、送り出しの準備等での大変さがあるようです。平均利用日数については10日前後の方が多いようです。  
デイケアに関しては150名程度の方が登録され、曜日別に利用されておりリハビリに取り組みれておりました。

リテーションを行い、認知症専門棟の方は、小集団での体操を中心としたレクリエーション的な要素を取り入れたリハビリを行っているそうです。  
デイケアの方々はその後11時から12時まで個人プログラムに加え、必要性に応じて個別リハビリの提供をされているそうです。また、在宅では訪問リハビリを利用されている方もいらっしゃいました。

ショートステイの割合を設定して利用者さんを受け入れ、在宅で生活が送れるよう一人一人に合った専門性の高いリハビリテーションを提供してまいりました。また目標をしっかりと定め、それに合わせた利用期間を設け、在宅復帰に向けたプランを各職種間の連携のもと実行されており、在宅復帰に取り組まれておりました。



フェルマータ船橋

住所：千葉県船橋市飯山満1-822 電話：047-425-5581  
定員：入所97名《うち、認知症専門棟40名》 通所35名



# 研修会報告

## 接遇研修会報告

平成24年8月9日(木)に、ラ・ポール株式会社代表取締役福岡かつよ氏をお招きし、接遇研修会を実施致しました。最近では、ケアのみでの評価ではなく、施設の雰囲気や職員の質自体も利用をする際の選択肢にもなってきたため、何年振りに行う事になりました。今回の研修はいつもと違い、机は使わず椅子のみ使用。終日考え、ゲーム形式で自ら体験、言動・行動を見返す気づき、具体的な事を例に挙げながら掘り下げ説明いただき「接遇とは？」という事を、身を持って確認して



いただけた研修になったと思います。終始、参加者同士コミュニケーションを取っていたため会場の雰囲気も暖かいます、講義が終わりま

した。今年度も研修委員会では、去年に引き続き「多職種連携」で企画構成を考えております。少しでも研修に参加して頂き、色々な方との繋がりをもち業務に活かして頂きたいと思っております。

## 参加者の感想



辰巳ナーシング・ヴィラ  
介護職  
中下 貴晴

今回初めて千葉県老人保健施設協議会の研修で接遇研修会に参加させて頂いて、改めて接遇の重要性を再認識する事が出来ました。

私は人見知りの性格であり接遇というものが得意ではなかったのですが、相手と向かい合った時の距離感についての話や、人は先入観や固定観念で物事を判断してしまっているという事等、研修で福岡先生から学んだ事は一つ一つがとても興味深く、色々な事を体験するにつれ、介護の仕事で様々な人と関わっていく中で接遇に苦手意識のある私に少しだけ自信が持てるようになりました。

今回の研修会で学んだ事を忘れずに、豊かな人間関係を築き上げて利用者の方々安心して日々の生活を送れるように、利用者様の気持ちに寄り添った思いやりのある介護が出来るよう心掛けていきたいと思えます。

また利用者の家族の方々に信頼して利用者様を任せて頂けるよう、お世話させて頂いているという謙虚な気持ちを胸に頑張っていきたいと思えます。

## 高齢者の栄養と食事研修会報告



平成24年8月27日(月)に京葉銀行文化プラザにて54施設75名参加のもと、「高齢者の栄養と食事研修会」が開催されました。昨年に引き続き、地域栄養ケアPEACH厚木の管理栄養士・江頭文江氏をお迎えし、「高齢者の摂食・嚥下障害者」をテーマに講義をしていただきました。

今年の内容をさらに深め、午前中は「栄養管理の考え方やアセスメントのポイント」、「嚥下調整食の基本的な考え方と刻み食について」、「段階的な嚥下調整食やとろみ調整食品について」、「それぞれ演習を交えながら行われました。参加者自身が嚥下調整食を実際に試食し、利用者の気持ちを実感しながら、段階的な嚥下食の形態の理解を深めることにより、「嚥下食ピラミッド」を活用する方法を学びました。

## 排泄研修会報告

排泄研修会が京葉銀行文化プラザにて9月14日(木)ユニ・チャーム排泄ケア研究所を講師に招き、定員60名にて開催されました。

まず排泄についての基礎を改めて確認し、次に応用として高齢者に多い夜間の頻尿・多尿に関して焦点をあて、その原因や管理方法及び行動療法を学びました。膀胱機能評価や夜間頻尿・夜間多尿の分析、排泄ケアを適切に行う事で、転倒・骨折のリスク回避にもつながると述べられました。



午後は約10名ずつの6グループに分かれ実技を行いました。適切なオムツのあて方を講師が一人ずつ担当し、個別の評価や普段の業務では気づかない点、改めて確認する事も多かったのではな

いかと思います。今回の研修で学んだことを一つでも多く現場で活かして質の高いケアの提供に繋がって欲しいと思えます。



自由

気ままに

Paper blog



# 『入所者様との一泊旅行』

介護老人保健施設  
はつらつりハビリセンター

佐々木 和博(介護課・副主任)

施設の入所者様、そのご家族と一泊旅行に行きました。旅先は千葉県鴨川市です。今回参加された利用者様は、車椅子の方や認知症の方もいらっしゃいましたので不安な所もありましたが、楽しみでもありました。



入所者様とご家族様、職員が4台の車に分乗して、いざ鴨川に向けて出発！体調不良者も出ることなく最初の目的地は、鴨川で有名な回転寿司。施設では食べることがあまり無いお寿司に皆さん大喜び！普段食事が少なめな方も、この日は沢山召し上がり、お皿を積み上げていました。

お腹も満足して、宿泊先の宿へ到着。しばし休憩をして頂いた後に、散歩がてら海を見に行きました。

その間、残りの職員で入浴準備をし、宿の展望家族風呂を貸し切り、お一人ずつ大海原を見ながら温泉にゆっくり浸かって頂きました。

夜の宴会ではお酒も入りカラオケで盛り上がり、宴会終了後に花火も楽しめました。

翌日鴨川シーワールドに行き、シャチのショー、アシカのショーを楽しまれ、最後にお土産を買い、施設への帰路につきました。

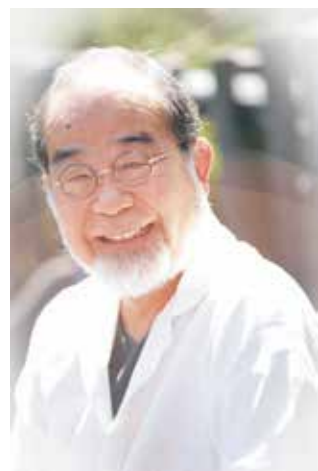
普段施設で接している入所者様とは違う一面を沢山見る事ができました。皆さん大変喜ばれ、笑顔も沢山見ることができたので、私達職員も楽しい時間が過ごせました。

皆さん、毎年この旅行を楽しみにしているらしやるので、これからもいろんな所への旅行を企画して行こうと思います。

## Information

かまた みる

# 鎌田 實講演会



撮影：百瀬恒彦

「がんばらない」けど「あきらめない」

日時 10月26日(金)  
14時〜15時30分

参加費 / 無料  
会場 / 千葉県教育会館 大ホール

千葉市中央区中央4-13-10  
定員 / 450名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ

千葉県老人保健施設協議会 事務局

電話 043-259-8435

主催 千葉県老人保健施設協議会 (後援 千葉県千葉市)

### ■鎌田 實 プロフィール

医師・作家。1948年東京生まれ。東京医科大学歯学部卒業。

38年間、医師として地域医療に携わり、チェルノブイリとイラクの救援活動にも取り組む。31以降、東日本の被災地支援にも力を注いでいる。

2009年ベスト・ファーザーイェローリボン賞(芸術・文化部門)受賞。

ベストセラー『がんばらない』をはじめ、『なさないけどあきらめない』『ウェットな資本主義』『アハメドくんのちのりレ』『希望』など著書多数。

現在、諏訪中央病院名誉院長。

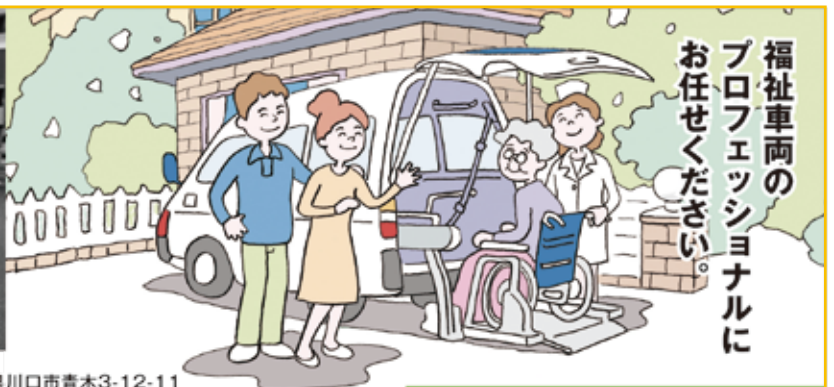


<http://www.ingenious.co.jp>



福祉車両の販売・メンテナンス  
インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木3-12-11  
TEL/048-257-2948 FAX/048-257-2945



福祉車両の  
プロフェッショナルに  
お任せください。

事務所及び工場を移転致しました



# なのはな スマイル



…施設の笑顔紹介



九十九里浜の北端、旭市。町の中心地にある開設20年目の老健です。地域の要望を大切に、リハビリテーションを充実させ、併設病院・事業所、協力施設と共にトータルなケアを目指しています。地域密着施設として市民祭りでは今年も町内の御神輿をお迎えしました。

若いリーダーですが、利用者様とスタッフが共に明るく元気に過ごせるよう、毎日笑顔で走り回っています。

- すこやかリハビリケアセンター 介護福祉士 石橋 千恵



## ■すこやか リハビリケアセンター

住所：旭市口818-3  
電話：0479-62-4600  
開設日：平成4年5月28日  
入所：80名  
通所：35名



市川東高校の隣りで明るい環境に恵まれ療養には最適の環境にあります。超高齢化社会を迎えるなかで一人でも多くの要介護高齢者の方が安心と充実の中で日々の生活を送れることを念願し、スタッフ一同、きめ細やかなお世話をモットーに日々頑張っています。

学校を卒業したばかりで未熟ですが、先輩達から学びながら笑顔と元気で頑張ります！

- サンシルバー市川 介護福祉士 前田 理沙



## ■サンシルバー市川

住所：市川市北方町4-1460  
電話：047-303-5533  
開設日：平成17年4月11日  
入所：130名  
通所：30名

## 老健ちばカレンダー

10月

26日(金) 鎌田實氏講演会  
『千葉県教育会館』

11月

20日(火) 感染症研修会  
『京葉銀行文化プラザ』  
28日(水) 施設ケアマネジャー研修会  
『ホテルポートプラザちば』

12月

セルフケア研修会  
※日程・場所は未定  
21日(金) 研究事例発表大会  
『千葉市文化センター』



## 編集後記

- すこしやすい季節ですね。苦手な夏は長く感じますが、夏が終わると季節の変化を速く感じます。楽しみにしていた鎌田先生の講演会も間もなくですね。(若林)
- 10月になり、一つ年を取りました。いつまでも若いつもりでいたのですが、身体は正直ですね。今月は健診を受ける予定なんです(><) (神作)
- 長かった暑い夏もやっと過ぎ、今年こそスポーツの秋にしようとしたのですが…3日で例年通り食欲の秋となってしまいました！(坂本)
- ようやく涼しくなってきました。快適です。8月は何かと忙しい毎日でした。このまま年末に突入かな？後半年頑張ります。(原)
- 一番大好きな季節がやってきました。秋の紅葉に美味しい味覚。でも、数えれば今年もあとわずかです。一年は早いですね!!(佐々木)
- 携帯電話が壊れたので新しくスマホに買い換えました。にしても、ミスタッチが多くて使いにくい！年齢を考えてらくらくホンにすれば良かったかも(\*´o´\*)=3 (斎藤)